

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（大修館書店 現代の国語）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとして、読書に親しむことと自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとして、読書に親しむことと自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	明日をひらく 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	白紙 考える技術——考えさせない時代に抗して 伝える・伝え合う ・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢を作る。 ・相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【主体的態度】 ・言葉やコミュニケーションに対して興味をもち、「現代の国語」の学習に意欲をもっている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	1	
	要点をつかむ・的確に伝える 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	文章の要点をつかむ 水の東西／「動」への変化 ・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	○	○	○	【知・技】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて的確に理解し、要旨や要点を把握している。 【主体的態度】 ・具体と抽象の対比の関係をとらえることに意欲をもち、文章の要点をとらえようとしている。	○	○	○	4
	伝わるように話す わかりやすく書く ・話し言葉の特徴を知る。 ・聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。 ・相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話し、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的態度】 ・話し言葉の特徴に関心をもち、聞き手が理解しやすい説明のしかたをしよとしている。	○	○	○	2	
定期考査						○	○	1		
2 学期	的確に伝える・意見を示す 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	社会への視点① ・さまざまな規約 ・Q&Aや条列など、実用的な文章の特色をとらえる。	○	○	○	【知・技】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記のしかたを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感や響きやリズムを豊かにしている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、読者の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【主体的態度】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて的確に理解し、要旨や要点を把握している。 【主体的態度】 ・実用的な文章に興味をもち、その意図や表現上の工夫をとらえたり、わかりやすく書いたりする学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	1	
	意見を示す 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	発想を広げる ・他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 ・アイデアを整理し、さらに発想を広げる。 意見を書く ・構成や展開を意識して文章を書く。 ・根拠を明確にして、自分の意見を書く。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 【主体的態度】 ・他者と積極的に意見交換し、発想を広げようとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○	1		
3 学期	論理をとらえる 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	文章の論理をとらえる 動的平衡としての生物多様性／自然と人間の関係をおして考える ・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。	○	○	○	【知・技】 ・主張と論拠など情報と情報との関係を理解している。 ・推論のしかたを理解し使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて的確に理解し、要旨や要点を把握している。 【主体的態度】 ・論理的な文章を読むことに興味をもち、論理関係を意識して読もうとしている。	○	○	○	5
	魅力的に伝える 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	工夫して話す 魅力的な紹介文を書く ・さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に活かす。 ・読み手が共感できるように、表現を工夫して書く。	○	○	○	【知・技】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方を理解している。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【主体的態度】 ・紹介文を書く活動に興味をもち、読み手が共感できるように表現を工夫している。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	合計 36	

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（第一学習社 精選言語文化 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
- 【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしていくとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	羅生門（芥川龍之介） 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	○	○	○	・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○	○	1
	詩、古文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	一つのメルヘン（中原中也） 詩独特の表現技法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。	○	○	○	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解しようとしている。	○	○	○	3
		児のそら寝（宇治拾遺物語） 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 絵仏師良秀（宇治拾遺物語） 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。	○	○	○	・積極的に説話を読み味、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 ・文の構成単位を理解し、学習の見通しをもって、文を節や単語に分けようとしている。	○	○	○	8
定期考査							○	○	○	1
2 学期	小説、短歌 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	鏡（村上春樹） 恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。 その子二十 わが国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。	○	○	○	・人の内面に潜む恐怖の正体を進んで考察し、解釈したことを説明しようとしている。 ・恐怖体験を語る小説における、暗示や比喩の効果について、積極的に評価しようとしている。 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文章に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○	○	1
	古文、漢文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	なよ竹のかぐや姫（竹取物語） 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 漢文入門 わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。	○	○	○	・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。	○	○	○	15
定期考査							○	○	○	1
3 学期	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	城の崎にて（志賀直哉） 三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。	○	○	○	・作品に表れている死生観を捉え、内容を解釈しようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。	○	○	○	10
	古文、漢文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	古典から受け継がれる話の由来を調べる（課題に応じて調査する方法を学ぶ） 故事成語 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを調べる。	○	○	○	・伝統文化に関して積極的に題材を集め、集めた題材のよさや味わいを吟味しようとしている。 ・「祭りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書くようとしている。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○	○	合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 H組～E組

使用教科書：（高等学校 新公共（第一学習社））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論および倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間として在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>社会に生きる私たち</p> <p>【知識及び技能】 青年期を生きる私たちが何を考え行動すればよいか、また、青年期の課題を理解させる。伝統や文化などにふれ、自らの行動様式や考え方の関係について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①社会に生きる私たち</p> <p>②個人の尊厳と自主・自律</p> <p>③多様性と共通性</p> <p>・教材</p> <p>教科書、プリント、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 青年期を生きる私たちが何を考え行動すればよいか、また、青年期の課題を理解している。伝統や文化などにふれ、自らの行動様式や考え方の関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>公共的な空間における人間としての在り方生き方</p> <p>【知識及び技能】 先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①選択・判断の手がかりとなる考え方</p> <p>将来世代に受け渡したい環境</p> <p>生命倫理をめぐる問題</p> <p>・教材</p> <p>教科書、プリント、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 選択・判断するための手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理などの問題に関して、諸資料を適切に読み取り、必要な情報を活用して、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>1 学 期</p> <p>定期考査</p>			○	○		1
<p>公共的な空間における基本的原理</p> <p>【知識及び技能】 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を適切に読み取り、必要な情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原則について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①人間の尊厳と平等</p> <p>②私たちが政治・法の支配と立憲主義</p> <p>③私はどこまで自由か</p> <p>④大日本帝国憲法と日本国憲法・憲法に生きる基本的原理</p> <p>・教材</p> <p>教科書、プリント、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているか理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 具体的な事例を通して、諸資料を適切に読み取り、必要な情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原則について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	5

	<p>法的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 法や規範の意義や作際の配慮すべきこと、日本国憲法の権利と現実の課題、契約や消費者の権利と責任、紛争を法にもとづいて公正に解決するしくみについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの偏見・差別や消費者の権利・義務などに関する問題について、具体的事例を通して、多様な多面的・多角的に考察し、その解決策を検討し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項 主題1 法や規範の意義と役割 ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥法をよりよいものにするための権利</p> <p>主題2 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任 主題3 司法参加の意義 ①司法権の独立 ②国民の司法参加</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>法的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 法や規範の意義や作際の配慮すべきこと、日本国憲法の権利と現実の課題、契約や消費者の権利と責任、紛争を法にもとづいて公正に解決するしくみについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの偏見・差別や消費者の権利・義務などに関する問題について、具体的事例を通して、多様な多面的・多角的に考察し、その解決策を検討し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>政治的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 選挙の意義や課題、国民と国会・内閣の関係、地域社会へのかかわりについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 選挙の課題や自治体が抱える課題について、適切に情報を収集し、課題の解決の在り方について考察、構想させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 民主自治を推進するために果たすべき責任を考え、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気づかせる。</p>	<p>・指導事項 主題4 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 選挙の意義や課題、国民と国会・内閣の関係、地域社会へのかかわりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 選挙の課題や自治体が抱える課題について、適切に情報を収集し、課題の解決の在り方について考察、構想させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 民主自治を推進するために果たすべき責任を考え、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気づかせる。</p>	○	○	○	12
	<p>政治的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 国際社会の成り立ちや領土問題、日本の平和主義と安全保障の変容、今日の国際社会の特徴と地位紛争の背景を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際平和の実現に向け、軍縮のために国際社会や私たちには何が必要か、また、国際社会における日本の役割について考え、適切に表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に国際平和や日本の安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気付かせる。</p>	<p>・指導事項 主題5 国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題</p> <p>主題6 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和</p> <p>主題7 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 国際社会の成り立ちや領土問題、日本の平和主義と安全保障の変容、今日の国際社会の特徴と地位紛争の背景を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際平和の実現に向け、軍縮のために国際社会や私たちには何が必要か、また、国際社会における日本の役割について考え、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に国際平和や日本の安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気付いている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	<p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 経済の基本的なしくみや労働者を守りための法や権利、日本経済のあゆみと情報化の進展について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 少子高齢化やグローバル化が進む現代社会における将来の働き方や現在の労働問題について考察し、課題と解決策を考え、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項 主題8 雇用と労働問題 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題</p> <p>主題9 社会の変化と職業観 ①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 経済の基本的なしくみや労働者を守りための法や権利、日本経済のあゆみと情報化の進展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 少子高齢化やグローバル化が進む現代社会における将来の働き方や現在の労働問題について考察し、課題と解決策を考え、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 市場経済のしくみと市場の失敗、景気変動、金融市場の役割と意義、財政や社会保障のしくみや課題を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 市場の失敗の具体的な事例をふまえて、その対応策を検討し、表現させる。</p> <p>日本の財政の課題について考え、少子高齢化が進む中で持続可能なものにするためにどうすべきかを検討し、構想している。</p>	<p>・指導事項 主題10 市場経済の機能と限界 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉</p> <p>主題11 金融のはたらき ①金融の意義と役割 ②金融のいま</p> <p>主題12 財政の役割と社会保障</p>	<p>【知識・技能】 市場経済のしくみと市場の失敗、景気変動、金融市場の役割と意義、財政や社会保障のしくみや課題を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場の失敗の具体的な事例をふまえて、その対応策を検討し、表現させる。</p> <p>日本の財政の課題について考え、少子高齢化が進む中で持続可能なものにするためにどうすべきかを検討し、構想している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	16

3 学 期	<p>「高節化が進む中で持続可能なものにするためにどうすべきかを検討し、構想させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>主題は 財政の役割と社会保障</p> <p>① 財政のしくみと租税 ② 日本の財政の課題 ③ 社会保障と国民福祉 ④ これからの社会保障</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>				
	<p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割や経済のグローバル化が日本経済に与える影響、地域経済統合のメリットとデメリットについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域的経済統合のメリット、デメリットから日本の貿易政策がどうあるべきかを検討し、適切に表現させる。 発展途上国の経済成長のために国際社会や日本がすべきことを考え、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に地球環境問題や資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割や経済のグローバル化が日本経済に与える影響、地域経済統合のメリットとデメリットについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域的経済統合のメリット、デメリットから日本の貿易政策がどうあるべきかを検討し、適切に表現している。 発展途上国の経済成長のために国際社会や日本がすべきことを考え、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に地球環境問題や資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 持続可能な社会づくりに向けて、地球温暖化や資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題などの諸課題について、教科書記載の資料およびそのほかの資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会づくりに向けて、課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察しようとする。</p>	<p>・指導事項 ① 排出権取引を考える ～地球環境問題 ② ベストミックスを考える ～資源・エネルギー問題 ③ ゲノム編集を考える ～生命倫理 ④ インターネットによる投票を考える ～情報 ⑤ フェアトレードを考える ～国際社会の課題</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 教科書記載の資料およびそのほかの資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】 持続可能な社会づくりに向けて、課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察している。</p>	○	○	○	9
	<p>定期考査</p>			○	○		1
						合計	105

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活（化学・物理分野）

教科： 理科 科目： 科学と人間生活（化学・物理分野） 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 H 組～ E 組

使用教科書： （ 科学と人間生活 実教出版 ）

教科 理科 単元の目標：

【知識及び技能】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 科学と人間生活（化学・物理分野） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然や科学技術と人間生活との関わりについて、自らの課題研究を基に認識を深めている	既習の内容や生活経験を想起し、自然や科学技術と人間生活との関わりについて課題を設定するとともに、仮説や調べる計画を立て、表現している。 自ら設定した課題について、得られた結果を基に、科学的に考察して結論を導き、表現している。	観察・実験や資料調査、結果を基にした考察に進んで取り組み、自ら設定した課題について粘り強く解決しようとしている。 課題研究に関心をもち、友達と対話しながら、進んで課題を設定し、どのように調べれば課題を解決することができるかを考えて計画を立て、表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	・ 周期表を覚え活用できるようになる。 ・ 金属の結合様式から生じる性質を説明できる。	材料とその利用 元素と周期表/原子/原子の電子配置/リサイクルとは何か/金属の性質	報告書 行動観察	○	○	○	4
	・ 異なる金属の性質を利用して金属を区別できる。 ・ 実験の結果や考察を報告書としてまとめることができる。	材料とその利用 異なる金属の区別/金属の性質による区別/金属の性質による区別	報告書 行動観察	○	○	○	3
	・ 地球上に存在する物質は混合物で存在することを知る。 ・ 金属の鉱物から金属の単体を得る方法や長所や短所を知る。 ・ 実験の結果や考察を報告書としてまとめることができる。	材料とその利用 混合物と純物質/混合物の分離/金属の製錬と人間生活/銅の酸化物から銅を取りだそう	報告書 行動観察	○	○	○	3
	・ SDG'sの観点から金属の再利用を考える。 ・ 調べたことを報告書としてまとめ、発表することができる。	材料とその利用 金属の再生利用/イオンの形成/イオン結合/イオン結晶	報告書 行動観察 発表	○	○	○	4
	期末考査			○	○		1
2 学 期	・ 共有結合の結合様式から生じる分子の性質を説明できる。 ・ SDG'sの観点からプラスチックの再利用を考える。 ・ 調べたことを報告書としてまとめ、発表することができる。	衣料と食品 共有結合/分子からなる物質/分子の極性/高分子化合物/プラスチックの性質と分類/プラスチックはどのようにつくるか/プラスチックの再利用	報告書 行動観察	○	○	○	4
	・ 繊維の特徴から分類ができる。 ・ 実験の結果や考察を報告書としてまとめることができる。	衣料と食品 繊維の種類と性質/多繊維布を用いて繊維を見分ける/生物からつくられる天然繊維/石油からつくられる合成繊維	報告書 行動観察	○	○	○	3
	・ 栄養素とヒトの体の関係を説明できる。 ・ 三大栄養素の消化を化学的な視点で考察する。	衣料と食品 体に必要な栄養素/脂質の性質/炭水化物の性質/タンパク質の性質/タンパク質の性質を確かめる	報告書 行動観察	○	○	○	3
	・ 実験の結果や考察を報告書としてまとめ、発表することができる。	衣料と食品 デンプンの消化を追跡しよう	報告書 行動観察 発表	○	○	○	3
	期末考査						1
3 学 期	・ 光の性質を知る。 ・ 電磁波がどのように日常生活で利用されているか調べ、報告書にまとめることができる。	光の性質とその利用 光の進み方とその見え方/光としての性質①/光としての性質②様々なスペクトル/光の3原色と色/電磁波の利用①②	報告書 行動観察	○	○	○	2
	・ 光の性質を知る。 ・ 様々なエネルギーがどのようにで利用され、変換されていくか調べ、報告書にまとめ、発表することができる。	熱の性質とその利用 原子や分子の熱運動 熱容量と比熱 熱の伝わり方 エネルギーの有効利用	報告書 行動観察 発表	○	○	○	3
	学期末考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位 第二分野2単位中1単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（科学と人間生活 実教出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然や科学技術と人間生活との関わりについて、自らの課題研究を基に認識を深めている。	既習の内容や生活経験を想起し、自然や科学技術と人間生活との関わりについて課題を設定するとともに、仮説や調べる計画を立て、表現している。 自ら設定した課題について、得られた結果を基に、科学的に考察して結論を導き、表現している。	観察・実験や資料調査、結果を基にした考察に進んで取り組み、自ら設定した課題について粘り強く解決しようとしている。 課題研究に関心をもち、友達と対話しながら、進んで課題を設定し、どのように調べれば課題を解決することができるかを考えて計画を立て、表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・ヒトの眼の構造を理解する。 ・盲斑の測定を通じて、盲斑の確認をし、光の刺激の需要と脳での視覚の獲得について理解する。 ・近くを見るときと遠くを見るとき の調節の仕組みを理解する。 ・2種類の視細胞のはたらきを理解する。 ・実験・観察を通し、広く科学につ て広く学ぶ。	3編 生命の科学 1章 ヒトの生命現象 1 ヒトの視覚と光による影響	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	6
				○	○		2
	・周囲の明るさと瞳孔の大きさの変 化との関係について理解する。 ・1日を周期とした生活リズムにつ いて考え、体内時計と眼との関係に ついて理解する。	3編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 1 ヒトの視覚と光による影	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	6
	定期考査	定期考査		○	○		1
2 学 期	・カビは微生物であることを知り、 微生物とはどのような生物かに問題 を見いだす。 ・身のまわりにさまざまな微生物が 存在することを知る。 ・食品中、水中、空気中の微生物を 観察し、それぞれの細胞の大きさや 形について考察する。 ・実験・観察を通し、広く科学につ て広く学ぶ。	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用 1 さまざまな微生物	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	5
				○	○		2
	・周囲の明るさと瞳孔の大きさの変 化との関係について理解する。 ・1日を周期とした生活リズムにつ いて考え、体内時計と眼との関係に ついて理解する。	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 1 ヒトの視覚と光による影響	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	6
	定期考査	定期考査		○	○		1
3 学 期	・自然や科学技術と人間生活との関 わりについて、調べる課題を設定す る。 ・設定した課題を基に、仮説や調べる 計画を立てる。	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 1 太陽と月がもたらすリズム 2章 自然景観と自然災害) 1 身近な自然景観の成り立ち	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標： 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するとともに、事故の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ま	・健康の考え方	○	○	○	3
	・現代の感染症とその予防	【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	・生活習慣病などの予防と回復	【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査		○	○		1
2 学 期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ま	・生活習慣病などの予防と回復	○	○	○	3
	・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	・精神疾患の予防と回復	【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査		○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 国民の健康課題について、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ま	・調べ学習 ・発表	○	○	○	7
						35

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（なし）

教科 保健体育 の目標： 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するとともに、事故の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標： 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するとともに、事故の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔軟体操 ・基礎体力作り（短距離走、ボール投げ、中距離走） ・農芸体操（体操の体得）	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 自己の狙いに応じた運動に計画を立案したり、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	B 柔道 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔道（受け身の習得）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	C 卓球 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・卓球（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	D 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・水泳（クロール・平泳ぎの技術習得とタイム測定）	【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	5
	E 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主 定期考査	・講義 ・レポート作成	【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えて 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

2 学 期	A 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	水泳（クロール・平泳ぎの技術習得） 水泳（クロール・平泳ぎのタイム測定）	【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	3
	B 柔道 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔道（受け身・固め技の習得）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	C ダンス 【知識及び技能】 技術の名称や行い方、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・基礎運動 ・リズム体操 ・ダンスの創作 ・発表	【知識・技能】 技術の名称や行い方、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	D ソフトボール 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・ソフトボール（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	8
	E バドミントン 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・バドミントン（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	F 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主 定期考査	・講義 ・レポート作成	【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
3 学 期	A陸上 【知識及び技能】 自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切に、互いに高めあうことができるようにする	・持久走（ワークシート作り、記録測定）	【知識・技能】 自己の体力に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組み、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルールやマナーを大切に、互いに高めあうことができ、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	8

<p>B バスケットボール・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・バスケットボール（技能の習得と試合）</p> <p>・サッカー（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	4
<p>C 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主</p>	<p>・講義</p> <p>・レポート作成</p>	<p>【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
						合計
定期考査						70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 H 組～ E 組

使用教科書： （ Amity English Communication Ⅰ ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて日常的、社会的な話題について外国語を理解したり表現しようとする事ができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の学習を通して海外の文化や人々の考えを理解し世界平和に貢献しようとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・基本的文法事項を理解し、その知識を利用して英文を理解することができる。 ・重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。 ・本文の内容を把握し簡単に説明できる。	・授業中、又、授業の予習、復習時に、課題プリントやノートを利用して、授業で学んだことをもとに思考を深め自己表現につなげることができる。（課題やノート提出を期限内に行うことができる。）	・英語基礎力定着に不可欠な語彙力増強を目指して行う単語テストの勉強に主体的に取り組み、成果をあげることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ 「 や 」 ）	話 （ 「 発 」 ）					
1 学 期	The Beautiful Scenery be動詞・一般動詞の現在形 お気に入りの場所について英文を理解したりやり取りすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	8
	My Best Friend be動詞・一般動詞過去形 日常生活についてやりとりしたり、大切にしている人についてまとめたり英文を理解することができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査	これまでの復習					○	○		1
	Love for Dance 進行形・助動詞 多様なダンスに関する英文を読みダンスの力について伝えあったり絵や写真を見て感想を書いたり話すことができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	9
	Endangered Species 不定詞 世界の絶滅危惧種についての英文を読み、好きな生き物について書いてたり伝えることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査	これまでの復習					○	○		1
2 学 期	The History of Chocolateなど 動名詞 チョコレートの歴史について英文を読み健康について伝えあうことができる。 Our School 比較 ユニークな高校についての英文を読み考察を深める。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	17
	Serendipity 完了形など 身近にあることで偶然から生まれた発見についての英文を読んで理解し考察を深めることができる。 Sapeurs 受動態 サプールについての英文を読んで理解し服装や平和のシンボルについて考察することができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導 定期考査は中間・期末を行う	○	○	○	○	○	○	○	18
3 学 期	Special Makeup Effects 分詞 特殊メイクアップアーティスト、カズ・ヒロさんについて英文を通して理解を深め好きな俳優やテレビ番組、映画について伝えあうことができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導	○	○	○	○	○	○	○	17
	Clear Water 関係代名詞 水の大切さについての英文を通して環境問題について考え、また将来の夢などについて伝えあうことができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導 定期考査は学年末考査を行う	○	○	○	○	○	○	○	18
合計										105

週ごとの指導計画(単元指導計画) 新様式例

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科: 人間と社会

科目: 人間と社会

単位数: 1 単位

対象学年組: 第1学年 H組~ E組

教科担当者: (H組: 1学年 (A組: 1学年 (B組: 1学年 (E組: 1学年 (組:) (組:))))

使用教科書: (人間と社会 東京都教育委員会)

使用教材: ()

単元の目標:

- 【知識及び技能】 よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成
- 【思考力、判断力、表現力等】 自らの価値観を高める姿勢を育成
- 【学びに向かう力、人間性等】 社会に潜在する課題を発見する力を育成

単元名: ()

単元の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成	よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成	よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成

実施予定: 4月1週 ~ 3月4週

	具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)					
							H組	A組	B組	E組	組	
第1時	自然と人間の関わり	「自然と上手に関わって生きる」とは、どういうことなのか。	○	○	○	授業態度・ワークシート 出席点等	○	○	○	○		
第2時	学ぶことの意義	なぜ、私たちは学ぶのか。	○	○	○	授業態度・ワークシート 出席点等						
第3時	働くことの意義	働くことは、本当に社会に貢献することにつながっているのか。	○	○	○	授業態度・ワークシート 出席点等						
第4時	お金の意義	お金はどのような意義をもつのか。	○	○	○	授業態度・ワークシート 出席点等						
第5時	グローバル化が進展する社会	グローバル化が進展する社会の中で、何を大切にして生きていけばよいのか。	○	○	○	授業態度・ワークシート 出席点等						
第6時	選択し、行動する	よりよい選択をし、行動するためには、どうすればよいのか。	○	○	○	授業態度・ワークシート 出席点等						
第7時	科学技術と生命倫理	「科学技術の進歩」の中で、「いのちの問題」をどう考えればよいのか。	○	○	○	授業態度・ワークシート 出席点等						